

「集団的自衛権」指針

民維結の有志作成へ

民主党、日本維新の会、

結いの党の中堅・若手有志は25日、国会内で「外交・安全保障政策研究会」（会長・長島昭久元防衛副大臣）の会合を開き、集団的自衛権に関し、3月までに基本指針を作成することで一致した。今後、国家安全保障基本法案の国会提出も検討する。

会合には民主党の渡辺周、維新の山田宏、結いの柿沢未途の各衆院議員ら保

守系約25人が出席。長島氏は集団的自衛権の行使容認について「逃げずに正面から取り組む。安全保障に関する基本的な法制度をもう一回考え直していきたい」と述べた。

同研究会の活動は野党再編の布石との見方もあり、民主党の海江田万里代表は24日の記者会見で「長島氏から直接話を聞きたい」と警戒感をにじませている。